

# 八幡市 観光基本計画 概要版

歴史的資源と自然資源の活用を基本に  
観光産業の広がりを目指す、  
文化観光によるまちづくりを  
推進します。

2024（令和6）年度



2028（令和10）年度

## 創りつながる 文化観光のまち やわた ～人と自然、「神と仏」に出会うまち～

### 背景と目的

本市は歴史資産、茶文化や芸術、名所、自然などが豊富にありながら、豊かな資源を観光産業の創出・誘導に繋がられていないことが長年の課題となっています。前計画では、「文化観光の創造」を掲げ、ソフト事業を中心とした展開による観光消費額の向上を目指しました。このため、昨年度「歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略」を策定し、本市観光の目指す姿を描き、歴史的資源の保全、産業創出と官民連携の仕組みづくりの検討も進めています。

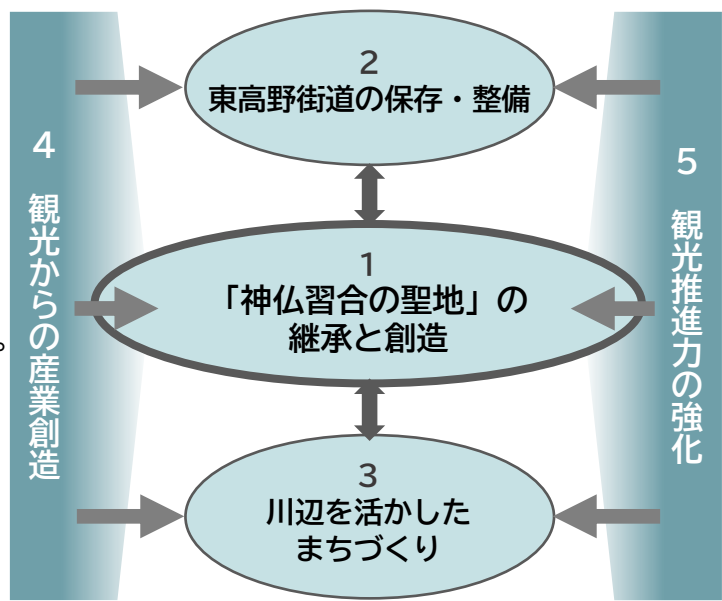
本計画では、前計画の検証を行いつつ、課題を整理して、歴史的資源と自然資源の活用を基本に観光産業の広がりを目指す、文化観光によるまちづくりを推進する5年間の観光基本計画を策定します。

### 観光振興における課題

- ① 観光消費につながる商品、機会の場が少ない
- ② 歴史的価値に見合わない知名度の低さ
- ③ 一時に集中する来訪者と閑散期の格差が大きい
- ④ 活かすべき資源を見定め、徹底的に活かす「選択と集中」が必要
- ⑤ 観光まちづくりを進める体制づくりが必要

### 基本理念を実現する5つの基本方針

前計画から継続して取り組む文化観光については、基本方針1『「神仏習合の聖地」の継承と創造』、基本方針2「東高野街道の保存・整備」を推進します。大阪・関西万博を契機に展開する舟運を中心に、本市の特色である河川を題材として、基本方針3「川辺を活かしたまちづくり」を推進します。また、課題となっている観光消費の増加を図るため、基本方針4「観光からの産業創造」を推進し、これらの施策の実行力を高めるため、基本方針5「観光推進力の強化」に取り組みます。

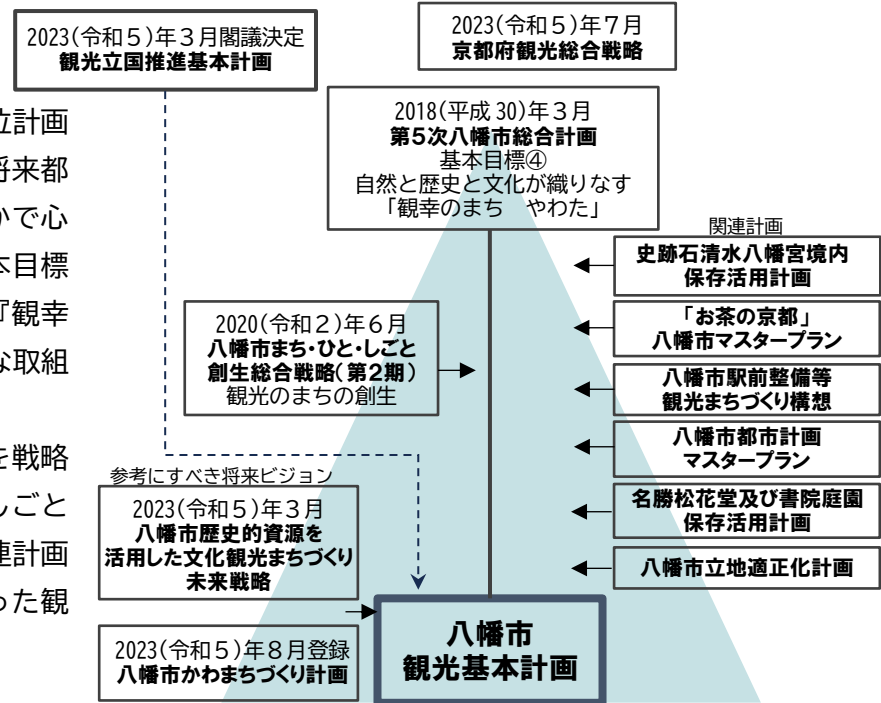


取組の概念図

### 計画の位置付け

本計画は、「第5次八幡市総合計画」を上位計画としています。第5次八幡市総合計画の将来都市像「みんなで創って好きになる 健やかで心豊かに暮らせるまち」の実現に向け、基本目標のひとつ「自然と歴史と文化が織りなす『観幸のまち やわた』」をもとに、方向性や主な取組を設定しています。

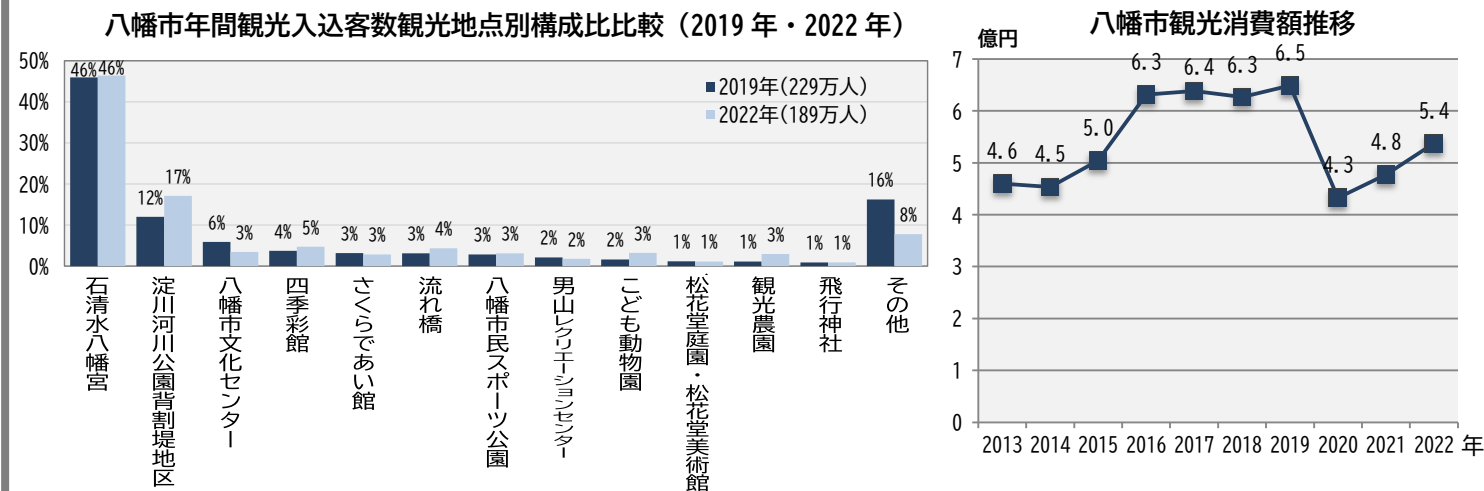
本計画は、さらに「観光のまちの創生」を戦略の柱として掲げた「八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）」や、その他の関連計画との整合を図りながら、官民が一体となった観光振興の定着を推進します。



### 八幡市の観光の状況

新型コロナウイルス感染症拡大時においても、観光入込客数のシェアは石清水八幡宮と淀川河川公園背割堤地区の2地点に集中しています。

観光消費額は、新型コロナウイルス感染症による影響の落ち込みから回復しつつあります。



### 計画の実現に向けて

各組織は右の役割を担います。また、「八幡市観光基本計画庁内推進委員会」など進行管理体制の確立と、機運醸成と併せて事業者や住民が参画できる関係を構築し、核となる事業者などによる連携協定の締結等を進め、段階的な体制・組織を構築します。

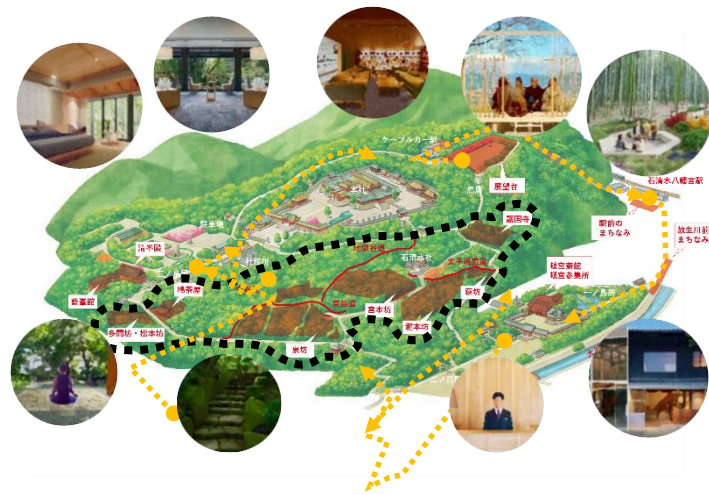
市民	観光事業者	行政
アクションプランの推進に楽しみながら積極的に参加。	観光客や市民に対して満足度を高めるサービスを提案。市域のにぎわいづくりに努める。	広域連携や事業環境づくりなどを推進。市民とともに施策を展開。資源の保全と適正管理を行う。
観光協会	お茶の京都 DMO	
連携・調整、アクションプラン推進の中心的役割を果たす。観光情報の総合窓口の機能を担う。	地域情報の収集、マーケティングやプロモーション、観光資源の開発・磨き上げ、観光人材の育成などを行う。	



未来戦略の実現

基本方針1 「神仏習合の聖地」の継承と創造	A 石清水八幡宮・山上の魅力向上	①新・空中茶室創造につなげる山上の魅力向上★ ②男山四十八坊跡等、男山の環境整備と活用
	B 石清水八幡宮・山下の活性化、アクセス性の向上	①エリアの入口となる頓宮周辺の魅力向上 ②歩いて上がる仕掛けとアクセス性の向上
	C インバウンド受入体制整備と発信	①高付加価値の体験提供と受入体制整備★ ②海外へのプロモーション

基本方針2 東高野街道の保存・整備	A 古民家活用の体制・仕組みづくり	①拠点古民家の活用★ ②古民家を活用した事業推進
	B 歩きやすい街道の環境整備と交通規制	①歩きやすい街道の環境整備 ②交通規制と誘客ルートの開拓
	C 神仏習合のストーリー発信	①松花堂庭園の魅力創出★ ②ストーリーを活かしたソフト事業の展開



石清水八幡宮とその門前町で

「神仏習合の祈りの聖地」を目指す各事業が相互に作用し、認知度が高まり、国内外から人を惹きつける「神仏習合の祈りの聖地」を形成する。市民の誇りの醸成とともに、賑わいにより地域経済が活性化する好循環が生まれる。

※全域が史跡(展望台エリアを除く)。活用には遺構の保護が大前提となり、整備基本計画立案が必要

出典：観光庁【令和4年度 将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレジャー形成事業】  
近畿運輸局【神仏習合の祈りの聖地、石清水八幡宮での空中茶室「閑雲軒」の復活と男山四十八坊の賑わい創造にかかる実現可能性調査及びプラン策定事業】(対象地域：京都府八幡市)



空中茶室「閑雲軒」イメージ

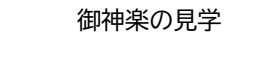
出典：八幡ストーリー&ガイド 03 茶文化 より



参道を歩く仕掛けづくり



古民家カフェ



御神楽の見学



古民家を活用した宿泊施設



街道の路面整備



東高野街道の景観



松花堂庭園でのお茶体験



松花堂ふれあい市



松花堂つばきウィーク



神仏分離のストーリーを伝える八角堂

かわまちづくりの推進

基本方針3 川辺を活かしたまちづくり	A 背割堤地区の水辺環境の整備とにぎわいづくり	①アクティビティ客の誘導と環境の充実 ②多様な活動拠点としての賑わい創出★
	B 淀川舟運とサイクリングの充実	①舟運を活かした広域観光ルートの整備 ②サイクリングでの多様な楽しみ方の発信
	C 川辺をつなぐ仕掛けづくり	①川辺の活性化 ②市内周遊環境の整備

観光体制強化

基本方針4 観光からの産業創造	A 駅前空間づくり	①エントランスとしてふさわしい駅前整備★
	B 特産品の魅力向上	①「ヤワタカラ」の知名度向上と販売促進 ②特産品の開発とふるさと納税制度との連携
	C 地域産業の活性化	①農業との連携 ②市内商工業との連携 ③観光関連事業者の誘致
基本方針5 観光推進力の強化	A 推進体制の構築	①推進組織の形成★ ②財源の確保
	B 観光人材の発掘と活躍	①観光人材の発掘と活用 ②観光ボランティアガイドの拡充
	C 観光DXの推進	①ビッグデータを活用した動向分析 ②デジタル技術を活用した旅行者の利便性向上



一年を通して自然を楽しめる背割堤地区を目指す

「かわまちづくり計画」

豊かな自然環境の水辺を活かした多目的空間の創出や、淀川舟運再生による上下流軸・まちのにぎわいづくりに向けた取組を進める。

- 豊かな自然環境を活用した多目的活動空間の提供
- さくらであい館を活用したアウトドアアクティビティの提供
- 舟運復活による市内への誘客



川辺でのデイキャンプ

宇治川でのEボート体験



背割堤さくらまつりお花見船

木津川サイクリングロード



背割堤の彼岸花

スケートボードパーク



ヤワタカラの駅前販売



竹あかりイベント



いちご狩り



男山商店街

指標の設定

指標	現在値(2022年)	目標値(2028年)
観光消費額	53,700万円	80,000万円
京都府観光客動向調査による一人あたりの使用額	1,113円	2,000円
観光入込客数(通年)	189万人	261万人
初詣・さくら花見客を除いた観光入込客数	148万人	200万人
市内外国人滞在者数	12,447人	18,000人
八幡ストーリー&ガイドアクセス数	14,035件	20,000件
わがまち・八幡への愛着や誇りを感じる市民の割合	53%	60%